

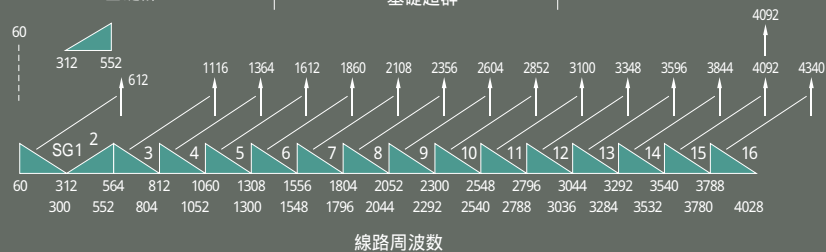
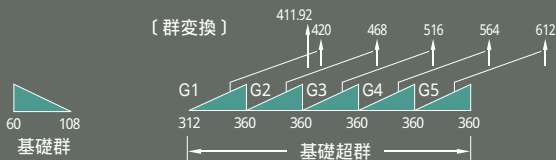
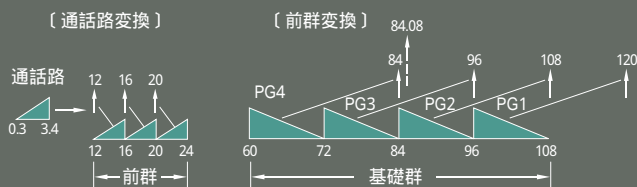
# 最初に実用化されたC-4M方式

C-4M system commercially launched as the first analog coaxial cable transmission system

C-4M方式は、2.6 / 9.5mm標準同軸ケーブルを使用して、電話960通話路を伝送するアナログ同軸伝送方式である。この方式は、CCIF(現ITU-T)勧告に準拠して開発が進められ、1956年に実用化された。C-4M方式の本格的後継はC-12M方式であるが、この間に暫定的に導入されたC-6M方式があり、テレビ伝送にも対応した。

## C-4M方式の周波数配置(kHz)

Frequency allocation in C-4M system



項目		C-4M方式
通話路数		960ch
伝送周波数		60kHz ~ 4,028kHz
伝送線路		2.6 / 9.5mm同軸
適用距離限界		2,500km
中継間隔	等化範囲	6.15km ~ 9.3km
	標準	9km